

ハイポネックス®ニュース

HYPONeX NEWS 38号

平成30年12月発行 農芸プロダクツ

この度、秋の台風や地震で災害に遭われました方々、また被害につきましては、大変ご苦労されたかと思えます。心よりお見舞い申し上げます。

今号は、皆様のお役に立てるように新商品『ネクスコートプロ』のご紹介をはじめ、様々な事例や推奨管理を情報盛り沢山でお届け致します！是非ご一読いただきますよう、お願い申し上げます。

<トピックス>

- 頁2~3 ■新製品 野菜用“ネクスコート プロ” 発売のご案内
- 頁4~5 ■春の野菜苗（3寸）育苗の施肥提案
- 頁6~7 ■特集！ボンバルディアのメカニズム
- 頁8 ■ライゾーの発根促進効果の事例（レースラベンダー3寸）
- 頁9~10 ■バイオスティミュラント資材の使用例（イチゴ）
- 頁10~11 ■ポットカーネーション（5寸）肥培管理の事例
- 頁12 ■植物活力液“リキダス”の店頭展開例



チェック!

スプリングキャンペーン

12月17日～2月28日

2019年も実施致します!!

日頃のご愛顧に感謝し、今年も例年同様スプリングキャンペーンを実施致します！今回は、新製品『ネクスコートプロ』も対象となっております。

セールの詳細につきましては、弊社営業担当、またはお近くの販売店までお問合せください。



SALE



2019年2月下旬発売



NeXCOTE-PRO

野菜用コーティング肥料

ネクスコートプロ

<商品の特長>

① 環境に配慮した肥料！！

コーティング樹脂は植物性で、土壤に優しい肥料です。

高度なコーティング技術により、肥料の無駄な流亡が少なく土壤への残留も少ないため、作物に十分な肥料を供給できます。

② 生産の安定・生産ロス軽減

雨や土壤水分、pH や微生物に肥効が左右されにくく、栽培期間中を通して安定して肥料が溶け出します。

③ 肥培管理をもっと楽に！！

肥料の持続力が長く、栽培期間中の肥料を安定して補えるため、追肥作業が軽減でき、省力化につながります。



野菜苗にネクスコート

次世代型コーティング肥料 3ヵ月

N14 - P7 - K14

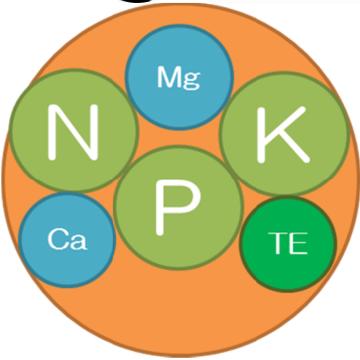


+カルシウム
+マグネシウム
+必須微量元素



《溶出メカニズム》

- ① ネクスコートプロ 1 粒の中に、成分のすべてが配合。
- ② コーティング内に水が入り、各成分を溶かします。
- ③ 溶けた成分は、浸透圧によって押し出されていきます。
- ④ 温度によって、一定して肥料成分が溶出します。



野菜生産に

6ヵ月

9ヵ月



N16 - P6 - K10

N13 - P5 - K15



① 6ヵ月・9ヵ月タイプは長期間ゆっくりと溶出するよう、数種のコーティング肥料、石灰やマグネシウム成分を配合。

② 水や温度により、中～長期の野菜生産で有効に利用され省力化につながります。

春の野菜苗 3寸ポット育苗の施肥提案



春の野菜苗(3寸ポット)育苗の施肥提案

野菜苗の「ネクスコートプロ」 + 「マグアンプⅡ速効き」の組み合わせ施肥は、追肥の手間を無くすとともに、肥料の山谷が無くなるため 葉色の濃い健全で、充実した株に仕上がります。

また、肥効期間が長く、店頭での肥料切れを防ぐことができます。特にナスなど栽培期間が長い果菜類の野菜苗生産に適してします。

ご注意：肥料の種類、施肥量など必ずお試しいただいてからご使用ください。
用土の配合、作目、苗のボリュームによって適正な施肥量が異なります。



春の野菜苗の施肥量の目安

元肥使用として、ピート主体（ピートモス50～60%）の培養土に使用した事例です。
赤土主体（赤土40～70%）の培養土の場合、使用量は下の**1.5倍量**が目安です。

ネクスコートプロ 14-7-14 +微量元素 <small>コーティング肥料</small> NEXCOTE PRO		マグアンプⅡ 速効き 8-20-8 +微量元素	肥料 コスト 3寸鉢当 たり	特徴
1.0g / 用土1 罎	+	2.0g / 用土1 罎	0.45 円	野菜苗は初期の肥料要求量が多いので、マグアンプⅡ速効きは2.0gがお奨め。ナス・トウガラシなど生育期間が長く、大苗仕立ての場合はネクスコートの施用量を多目にします。
1.5g / 用土1 罎	+	1.5g / 用土1 罎	0.44 円	花壇苗での標準施用量。初期の肥効は平均的ですが、後半の肥効持続性に優れます。花壇苗用土と野菜苗用土を別けられない方にお奨め。
1.0g 植付時に 置肥	+	1.5g / 用土1 罎	0.64 円	肥料要求量が多く、出荷まで日数がかかるナス・トウガラシ類などに便利。1 鉢毎に確実に同量のネクスコートを施肥出来ます。



【施肥量】

- ・元肥混合 ネクスコートプロ 1.5g/ℓ + マグアンプⅡ速効 MS サイズ 1.5g/ℓ
- ・追肥なし

“ネクスコート プロ”と“マグアンプ速効き”を使用することで、生育の揃いが良くなり葉色が濃く葉柄の徒長感も無く、株が引き締まって商品価値が高まりました。追肥作業が軽減されます。

2018年4月20日撮影



【施肥量】

- ・元肥混合 A社 緩効性顆粒肥料 10-10-10+微量元素入り 1.8g/ℓ
- ・追肥 A社 微量元素入り液肥を随時施用

ポット間の生育にばらつきがあります。葉色が薄く、葉柄が伸びて徒長感があります。根張りも悪く萎れやすい。追肥（液肥）が必要で天気悪い時は液肥やれない問題も。

2018年4月20日撮影

【特集!!】ボンバルディアのメカニズム

THE バイオスティミュラント資材

ボンバルディア

N^N 8 - P^P 1.3 - K^K 0.5 未満 +

遊離アミノ酸・多糖類
フルボ酸・微量元素



ボンバルディアの最大の特長はアミノ酸生成方法！



加水分解でアミノ酸が壊れてしまう

酵素+加水分解では吸収しやすいアミノ酸を取得はできる

ボンバルディアはバクテリア発酵（微生物によってゆっくり発酵）により吸収しやすいアミノ酸を取得できる。またバイオスティミュラントで重要な成分である二次代謝物（天然生物刺激物）も取得できる。

だ・か・ら！

ボンバルディアのアミノ酸は直接植物に吸収され易い

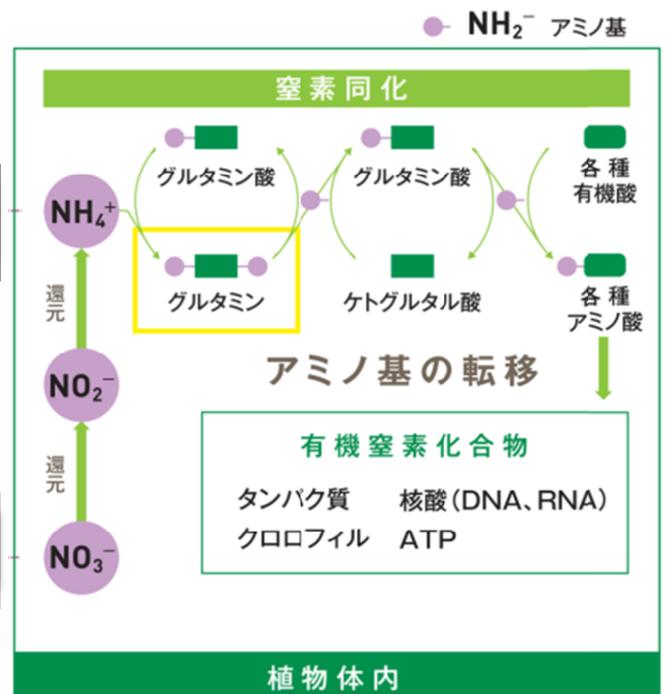
■ ボンバルディアのアミノ酸の作用メカニズム

- 植物体内では窒素同化が行われています。
- 植物は吸収した窒素からグルタミン酸を経て各種アミノ酸を作り出すのに時間とエネルギーを必要とします。よって高温、低日照など植物の環境状態が悪い時は窒素同化作用が低下します。
- ボンバルディアの施用によりグルタミン酸や各種アミノ酸が直接吸収されることで時間とエネルギーの消費を抑えつつ直ぐにアミノ酸やタンパク質合成に使用され、植物に活力を与えます。

根から吸収

アンモニア態窒素

硝酸態窒素



ボンバルディアは相乗効果で植物や土壌へ刺激を与える

■養分の素早い補給

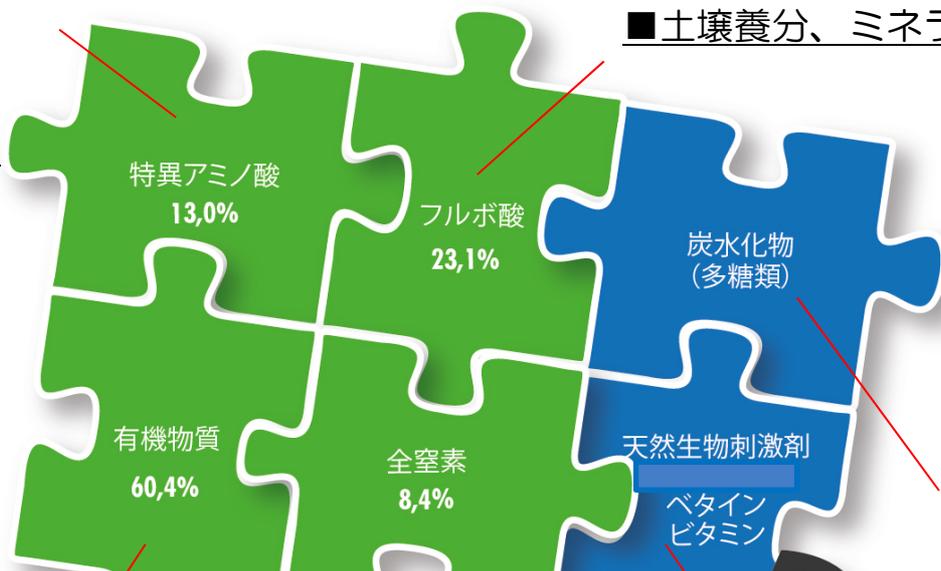
■配合成分の相乗吸収

■光合成促進

■土壌養分、ミネラル吸収促進

■体内水分調整

などなど



■代謝機能向上

■低温耐性向上

■土壌団粒化

■微生物活性向上

二次代謝物 (天然生物刺激物)

■ストレス耐性向上

■乾燥耐性向上

■浸透圧調整向上

施用のタイミング

暑さ、寒さ、曇天、雨などのストレスを受けた時、移植時、ハウスへ移動した時、花が連続で咲いている時、実がつく時、なり疲れした時

高温期試験：ベント芝試験(2018年)

「ボンバルディア 0.5cc/m²」は
6月6日より月2回施用。
水量 200cc/m² (400倍)。

液肥を混合して施用、7月下旬1回と
8月は液肥なし。対照区は液肥のみで
同時期、同条件で施肥。

ボンバルディアは、高温期でも根が
伸長し、根量が確保できています。

8月23日撮影。



ライゾーで発根伸長促進

レースラベンダーの施用事例（兵庫県）

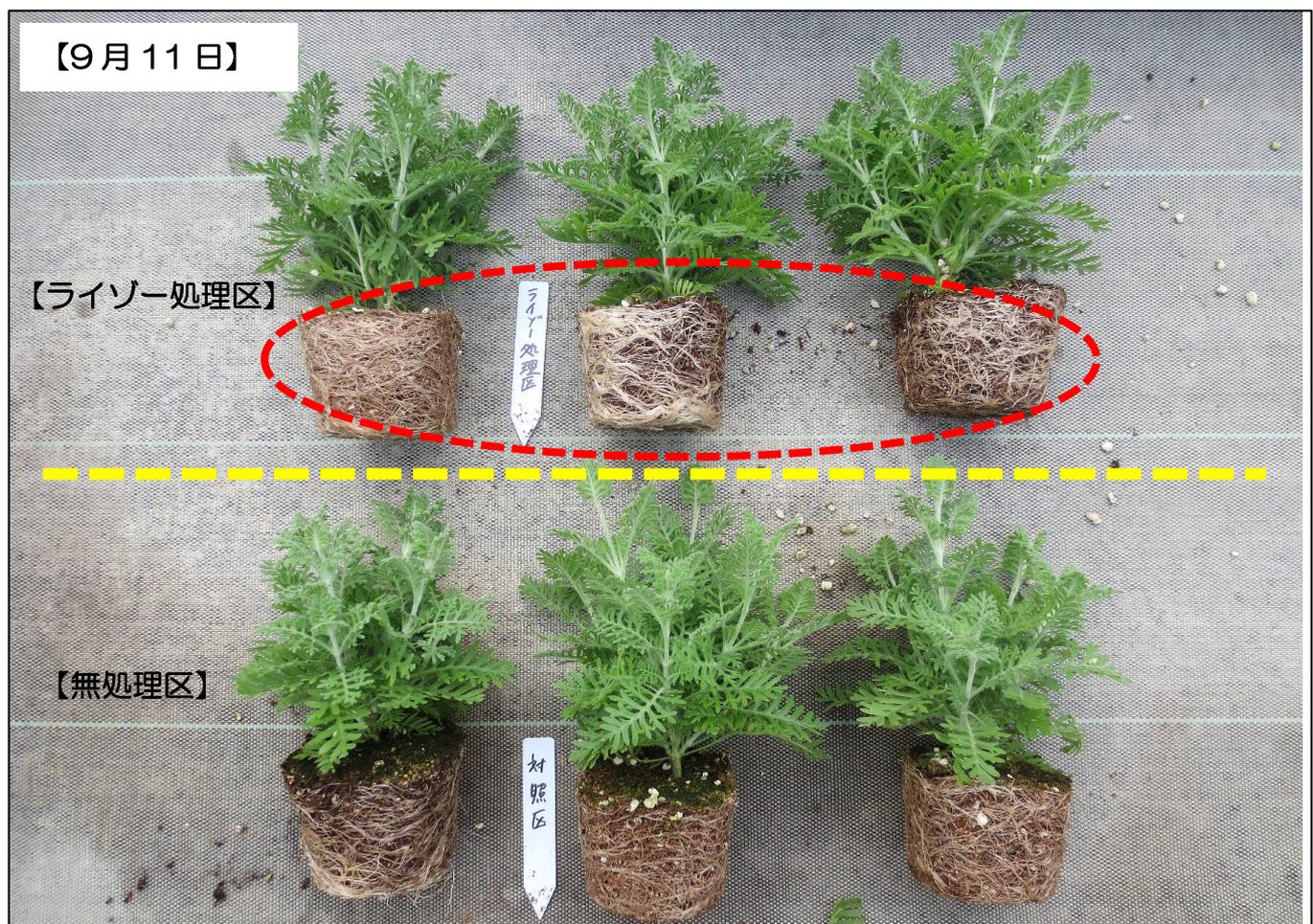
<7月14日播種>

ライゾー処理1回目（10,000倍施用）：プラグトレイ育苗時に施用。本葉展開時。

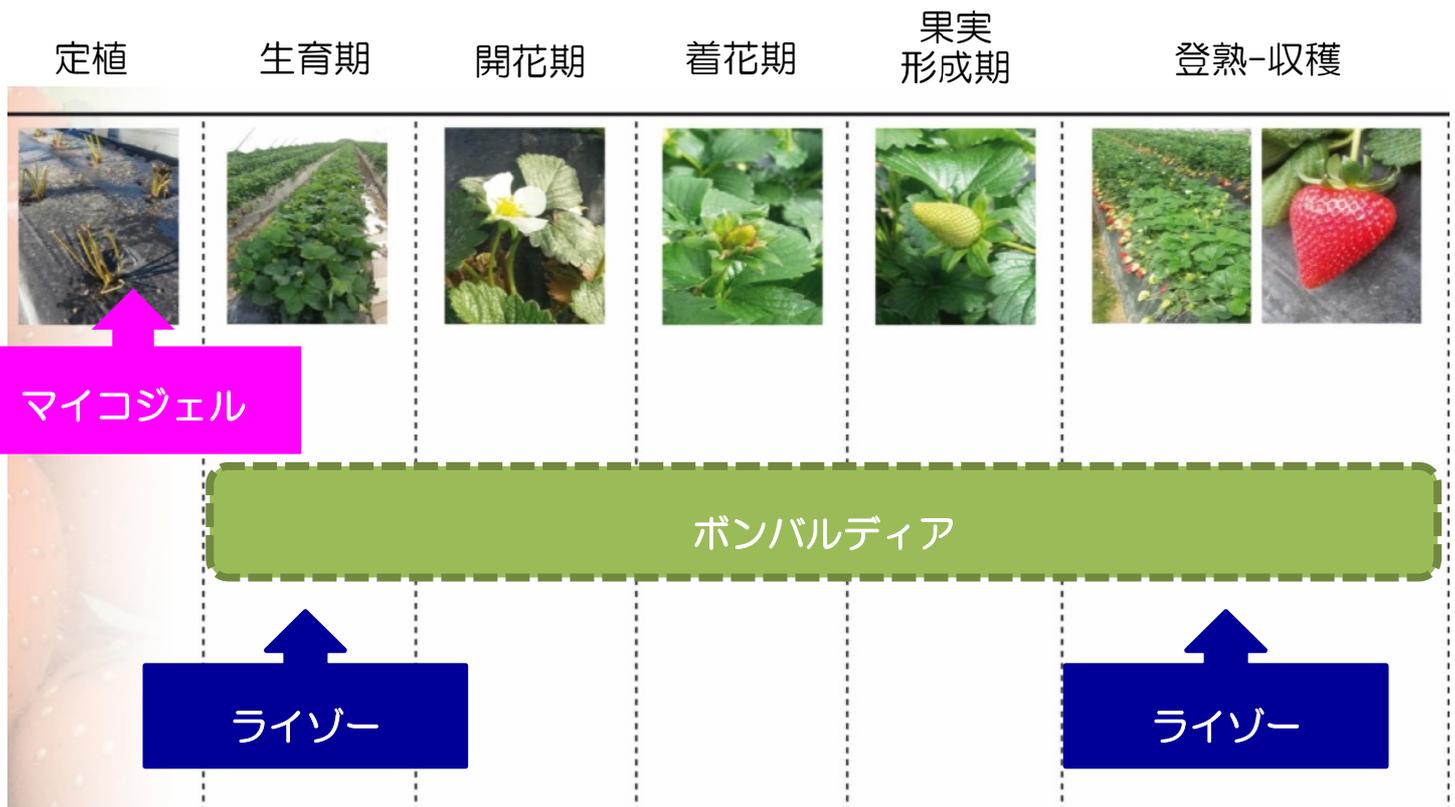
ライゾー処理2回目（10,000倍施用）：プラグトレイ育苗時に施用。3寸ポット定植直前。

<8月7日定植>

ライゾー処理3回目（10,000倍施用）：定植後1週間経過。8月15日に施用。



バイオスティミュラント使用例（イチゴ）



マイコジェル

定植後に 10a あたりにマイコジェル 100ml を希釈して株元に与えます。

（または、定植 1~2 日前に苗に 3000 倍希釈液を散水してください。）

*マイコジェルを施用した後は、化成肥料（特に速効性リン酸）、殺菌剤の施用を 2 週間控えて下さい

ライゾー

施用量：10a あたり 100g を希釈して灌注してください。2~4 回施用。

マイコジェルを施用 2 週間後に施用して下さい。果実が多くついていて養分要求量が多いときや、栽培ストレスで根が傷んだ時に使用してください。

ボンバルディア

施用量（葉面散布）：1~2cc/L（500~1000 倍）

*銅剤、石灰硫黄合剤以外の農薬とは混合可能

または 1500~2000 倍（灌注する）*フルボ酸効果で灌注の方が効果的。

定植後からの生育期に 2 回、開花期に 2 回、果実期に 2 回の計 6 回、10~14 日間隔で施用します。特に作物が養分を必要とする時期に合わせて施用します。

ポットカーネーション（5寸）肥培管理の事例

月	栽培作業等	液肥	置肥	
12	上旬	【元肥】 ■パターン1：マグアンプK中粒 2~3g/用土1L ■パターン2：マグアンプⅡ速効き微量元素入Mサイズ 1~3g/L ※ピートモス主体の用土はマグアンプは少なめ。土が多い場合はマグアンプも多め。早期からしっかり効かせたい場合は速効きを利用。 ※土中の塩基バランスを考慮し苦土石灰の利用 ※重焼リン（水溶性P）混合で有効にマグアンプを効かす→根太効果 ※元肥多いと活着が悪く、初期生育ばらつきや肥満に（芽の不揃い）		
	中旬			【鉢上げ】 年内~年明けに 5寸鉢上げ
	下旬			
1	上旬	液肥の開始。谷型で 節間をつめる！ ■ピーターズ 20-10-20PL 2,000~4,000倍 (50-100Nppm) 灌水2~3回に対し、 施肥1回。	置肥の開始（根が十分に活着したら） ※鉢上げ約3週間後	
	中旬			鉢上げ後、 7~10日間は 根が活着する まで灌水のみ
	下旬			
2	上旬	葉先枯れの防止（Ca欠乏の防止）。 ■ピーターズ 15-0-15 1,500~3,000 (50-100Nppm) ピーターズ 20-10-20PL と交互施用の開始。	パターンA【錠剤の場合】 ①置肥1回目 ■プロミック錠剤 12-12-12 中粒 1錠/鉢 ②置肥2回目（1回目の約1ヶ月後） ■グローア錠剤 10-10-10 Lサイズ (2.5g) 2錠/鉢 ※生育状況及び必要に応じ3回目の 置肥をする※ピーターズ併用が必要	
	中旬			蕾の空洞化を 防止するため、 肥料（追肥） は切らさない
	下旬			
3	上旬	Kの補給と株をしめる。 ■ピーターズ 15-5-25PL 1,500~3,000倍 (50-100Nppm) ピーターズ 20-10-20PL、 15-0-15 と併用施用の実施。	パターンB【コーティングの場合】 ① 2回施肥 オスモコートEXハイK12-7-19 3~4ヶ月 3~5g/鉢 →3月上~中旬に2回目追肥 4~5g/鉢 ② 1回施肥 オスモコートEXスタンダード 15-9-12 5~6ヶ月 4~6g/鉢 ※共に開花期にピーターズで補助が必要	
	中旬			破蕾
	下旬			
4	上旬			
	中旬	底面給水（プール灌水） の場合、上部灌水も何度 か実施。（鉢内上部の硝 酸態窒素蓄積の軽減と 出荷後の順化）		
	下旬			

【鉢上げ（定植）後の肥培管理要注意ポイント！！】

- 植え付け時には、出ベそ植えを心がける。ハウス内の風による蒸散を有効活用し乾かして、根を張らすことが重要。
- 追肥は根が十分に張ってから開始。→根の張らないうちからの追肥は地上部ばかり育ち、株が健全に育ちません。
- ピンチ前後の急激な肥料の効かせすぎには注意が必要。ピーターズ 20-10-20PL を中心とした液肥管理をすることで開花の段咲きを解消する。
- 花芽分化後の肥料切れに肥料やりのムラ（山谷）に注意しましょう
→空の蕾防止、下葉の黄化防止。
- 底面給水（プール灌水）の場合は出荷前より上部灌水も実施。
→鉢土上部の塩類集積の緩和、出荷後の環境への順化のため。
- 鉢底部での過湿に注意→病気にかかりやすい時期です。換気を十分に！
- 花芽分化時の肥培→花芽分化の際には窒素を抑えますが、花芽分化完了後は窒素、カリを強化し蕾を大きく。
- 分枝の促進→窒素を抑えましょう。

ポットカーネーション栽培へのお奨め新商品

チェック!!

グローア錠剤 10-10-10 Lサイズ (2.5g)

- グローア錠剤シリーズに、肥効を長くした、『Lサイズ (2.5g)』を新たに発売！
- 3.5寸花壇苗、鉢物の追肥や、イチゴの親株・ポット育苗等に！



オスモコートエグザクト ハイK 12-7-19 3~4ヶ月タイプ

- 高いカリ成分が、理想とするコンパクトな株に育て、強健な株にします。
- スタンダード3~4ヶ月タイプと使い分けて、品質UP！
- 作業効率UP！



※上記の管理は目安です。施肥量など、必ずお試しの上ご使用ください。

植物活力液リキダスの種苗店さん展開しませんか??

栃木の種苗店様 【玉ねぎ講習会】の風景



栃木県鹿沼市の老舗種苗店です。



社長自らリキダスを紹介いただきました。



1800W カート
なんと 4 台分の
玉ねぎ苗を展開
さすがです!



社長直筆の POP ↑
リキダスの説明も。
ありがとうございます!

HYPONEX

ジャガイモにリキダス

リキダスを使うと根張りが違う!

ジャガイモは根張りが重要。植物の生育が違います!

イモの早期肥大をうながす!

植えつけ後、すぐに。出芽期にも最適。

■栽培カレンダー ~種イモの植えつけ~収穫まで~

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
春作			●	●			■					
夏作										■		
秋作												■
冬作	●	●										

●---植えつけ ■---出芽 ■肥料ではあきませんので、肥料は順に与えてください。

● 植えつけ後、すぐに1000倍液を与える!
● 出芽時に、100倍液を与えるとともに効果的!

リキダス

HYPONEX

玉ねぎにリキダス

リキダスを使うと根張りが違う!

植えつけ後、すぐに。生育旺盛期にも。

■栽培カレンダー

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
春作												
夏作												
秋作												
冬作												

●---植えつけ ■---出芽 ■肥料ではあきませんので、肥料は順に与えてください。

● 植えつけ後、すぐに1000倍液を与える!
● 生育旺盛期に100倍液を与えるとともに効果的!

玉ねぎは根張りが重要。根の生育が違います!

水ですり混ぜ、株元に与えるだけ!

リキダス

春は『ジャガイモにリキダス』にて、お店で種芋と一緒にリキダスを販売して売上UPを!!

★販促物はお気軽に担当者まで★